

2020年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：初期環境調査

調査媒体：水質 (ng/L)

地方公共団体：横浜市

調査地点：鶴見川亀の子橋 (横浜市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アンピシリン	1.4	0.068	0.12
[2] イマザリル	nd	2.3	3.9
[3-1] クロフィブラート	nd	15	28
[3-2] クロフィブリン酸	※22	20	33
[4] ヘキサクロロエタン	※0.083	0.072	0.55
[5] ベンゾフェノン-4 (別名：2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸)	75	16	16
[6-1] ベンラファキシシ	38	0.16	0.24
[6-2] O-デスマチルベンラファキシシ	88	6.0	6.0
[7] トリエチレンテトラミン	nd	12	12
[9] メタクリル酸2-エチルヘキシル	nd	12	12
[10] リン酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル (別名：ジクロロボス)	nd	0.39	0.43

(注1) nd：不検出

(注2) ※：参考値 (調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値である。)